

草原維持活動支援実証試験計画（案）

1. 目的

草原再生のためには、自然環境上重要な採草地の面積を確保することが求められる。しかし、現在の牧野組合では、組合員の高齢化及び生活形態の変化により、採草面積が減少しているため、ボランティアを利用した草原維持活動の1つとして野草地における採草作業を試験的に行い、採草地の管理と利用の促進を目的とするものである。

2. 草原維持活動支援実証試験計画

具体的な活動計画は以下の通り想定している。

採草作業実施計画の作成

- ・ 既存組織の協力の下、対象地（牧野）の選定
- ・ 牧野組合の意向把握

採草作業当日のプログラム作成

- ・ 詳細に詰めた当日のプログラムを作成
(タイムテーブル、役割分担、準備品リスト等含む)

ボランティアへの呼びかけ

- ・ 既存組織協力の下ボランティアへ呼びかける
(昨年度実施した牧柵の補修実証試験を基とする)

採草作業の実施

- ・ 牧野組合等既存組織の協力の下、採草作業を実施する

事後取りまとめ及び課題の抽出

- ・ 実施後参加者に対するアンケート等を基に課題点を整理する

持続可能なルールの検討

- ・ 採草地の管理と利用をボランティアの参加によって持続的に進めるための仕組みを検討し、今後の取り組みに繋げる

草資源の利用・循環想定概念図

